



第3回校内授業研究会



研究主題

平成24年7月11日(水)

学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども

■ 5校時(13:50~14:35)2年1組教室

2年1組 石川 さとみ 教諭

学級活動 「2の1のマークを作ろう」

■ 15:00~16:30 <事後研究会> 視聴覚室

司会:長谷部 記録:大塚

1. 開会のあいさつ
2. 校長あいさつ
3. 講師の先生のごあいさつ
4. 話し合い・助言
5. 全体指導
6. お礼の言葉
7. 授業者より一言
8. 閉会のあいさつ

講師 : 村山教育事務所

井上敏春先生



天童市立長岡小学校

第2学年1組 学級活動指導案

平成24年7月11日(水) 5校時

男子18名 女子11名 計29名

指導者 石川 さとみ

1 議題名 2の1のマークを作ろう

2 議題について

(1) 本学級の児童

みんなと仲良く楽しく安心して遊びたいという気持ちを強く持っている子どもたちである。しかし、自分を認めてもらいたいという気持ちが強く、ルールが守れなかったり、言葉や行動での暴力など友だちとトラブルを起こしてしまったりする場面が見られた。

そこで、終わりの会で「ほめてあげたいこと」を出し合い、認め合う活動を継続している。「〇〇さんが～をしてくれた。」「〇〇さんが～をがんばっていてすごいと思った。」など子どもたちがお互いの様子に気づき肯定的に認め合うことができるようになってきている。また、間違っていることやできていないことを指摘された場合も、「教えてくれてありがとう。」と受け止めることができるようになってきている。

係活動を決める話し合いでは、「みんなが、楽しく過ごしやすくなるための係活動」を考えて係を決めることができた。係は決まっても活動内容がはっきりしない係は、そのたびに自分たちで相談をしている姿が見られた。例えば、図書係は、図書のカードを配る活動から、時間を考えて本を片付ける呼びかけや、みんながきちんと本を返しているか見守る活動ができるようになった。おたのしみ係は、終わりの会でクイズを出しみんなが楽しんでいる様子を見て、自分の係に対して自信を持つことができた。

生活科の「なかよし集会」の話し合いでは、「1年生となかよしになる」ことはどうすることなのだろうと真剣に考えることができた。「なかよし」という抽象的なことを、どのように具体的活動にしていくかという相談で子どもたちが考えたことは、「名前を覚える」「楽しく遊ぶ」という2つだった。そこで、グループで自己紹介をして、一緒に遊ぶことを計画した。遊びもはじめは、「おにごっこ」や「かくれんぼ」などを考えていたが、すぐにばらばらになるとグループがまとまらないし顔や名前を覚えられないから、「ハンカチ落とし」や「はないちもんめ」「だるまさんがころんだ」などをしてから次の遊びをしようと考え、1年生のことを意識した活動を考えることができた。1年生から「楽しかった。」という声を聞いて、1年生が喜んでくれたことがうれしかったと実感できた子どもたちである。

(2) 課題設定の理由

今回の議題は、学級活動の内容「共通項目(1)学級や学校の生活づくり」と関連し、学級目標を表すマークを作ることで、学級をよりまとまりのあるものにしたいという思

いを深めることをねらうものである。

「どんなクラスにしたいか」という話し合いでは、「仲がよい」「楽しい」「明るい」「何でもがんばる」「笑顔」という内容が多かった。みんなの気持ちを表す合い言葉にするには、どんなテーマにしていったらよいかという話し合いをグループごとに行った。グループでの話し合いの中で、自分たちの考えを出し合いながら相談し、それぞれのグループから出された考えを全体で話し合い、「えがおで たのしいところをつなごう」というみんなが納得できる合い言葉にまとめることができた。

学級テーマが決まり、クラス全員で文字を書いて、テーマを掲示したことにより視覚的にも振り返る場ができた。しかし、それで終わりではなく、もっとテーマに迫っていくクラスにしていきたい。よって、今回は学級のマークを作ることを教師から提案していく。

3 指導の構想

本校研究テーマ「学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども」に関わって、以下の三つの点から指導・支援する。

(1) 視点1〈心の耕し〉

本議題に関わるであろう問題の掘り起こしとして、主な教科・道徳との関連性を次のように図ってきた。

- ・国語「知らせたいことを話そう」…メモの取り方、発表の仕方、話の聞き方
- ・生活「なかよし集会」…話し合いの仕方
- ・道徳「きれいなはね」…友情・信頼、助け合い
「学校大すき」…愛校心

また、学級活動として「係り活動を決めよう」「どんなクラスにしたいか」という話し合いを行ってきた。自分たちの手で学級を楽しくしたいという願いをもとに友だちと協力しながら楽しく係活動を考え実際に行っている。また、どんなクラスにしたいかということ、一人一人の願いをもとに、考えを出し合いながら学級テーマを考えた。みんなが心一つに楽しく生活したいという、相手意識が少しずつもてるようになってきている。

(2) 視点2〈相手意識や目的を大切にしたい話し合い活動〉

話し合い活動の際には、「えがおで たのしいところをつなごう」という学級テーマに込められたみんなの願いをマークにも表し、より学級がまとまりのあるものになる話し合いにしていきたい。友だちの意見をしっかり聞いて、なぜそのマークがよいのか理由を考え自分の考えをもったり自己決定をしたりできるようにしていく。

(3) 視点3〈よりよい自分・集団への高まり〉

ふりかえりカードを準備し、話し合いのめあてに沿った内容でふり返させる。友だちの考えでよかったと思ったことや、決まったマークについてのよいところについて自分の考えをもつことで、学級への所属感を高め学級をまとめていきたい。

4 活動計画

	日 時	児童の活動内容	活動の場
事前	7月5日(木)	【マークをかく】 ・学級目標の確認をして、一人一人がマークをかく。	学活の時間
	7月9日(月)	【議題の確認】 ・3つ程度のマークにしぼり、話し合いで決めることを知る。	学習タイム
本時	7月11日(水)	【話し合い活動】 ・マークに込めた思いや図柄の説明を説明し話し合う。 ・マークを決める。	※本時の指導案参照 学活の時間
事後	7月18日(水)	【話し合い活動】 ・マークの使い方を考える。	学活の時間

5 本時の指導計画

(1) 本時のねらい

仲良く助け合い学級生活をたのしくするために、学級テーマを表すマークをみんなで考えることができる。

(2) 指導過程

話し合いの流れと予想される児童の意見	指導上の留意点と支援・評価（◆）
1 はじめの言葉 2 議題の確認と提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> 教師からの提案理由を述べ、マークを作る目的やイメージをしっかりと持たせる。
<p>「えがおで たのしいところをつなごう」という合言葉のマークを作り、2の1がもっとまとまって、パワーアップしていきたいと考えて提案します。</p>	
3 めあての発表と話し合いの見通し	
<p>今日のめあては、「2の1のマークを作ろう」です。選ぶときは、合言葉の意味がこめられていることやみんなの心がもっとまとまるようなマークを考えます。はじめにマークの説明をしてもらいます。次に質問があれば聞いて、みんなで話し合って、2の1のマークを決めます。</p>	
4 話し合い ① マークに込めた思いや図柄の説明をする。 ② 説明に対する質問をする。 ③ 合い言葉に込められた思いを出し合いながら話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 絵の上手い下手ではなく、説明をしっかりと聞き、マークに込められた思いや図柄の意味を理解させ、どのマークがいいと思うかを自己決定させる。 どの案がいいと思うのかを合い言葉に込められた思いを理由として発表するように助言する。 学級テーマや提案理由などにふり返り考えることができるように助言する。 意見が対立して、折り合いがつかないような話し合いになった場合は、折り合うための視点や助言を提示する。
5 ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ◆友だちの考えでよかったことや、決まったマークについてのよいところについて自分の考えを書いている。
6 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> 学級テーマに振り返って話し合ったところを提示する。
7 終わりの言葉	